

R3 講評（ 昆虫 ）の部

- ◎ 標本のつくり方が全体的によくなくなってきています。もう少し指導をしたら、もっと良くなる作品も多く見られました。
- 低学年生の作品にも良い標本が増えてきています。もう少し指導をしたら、さらによくなるとおもいます。
- 中学生の作品もとても充実してきました。
- コロナ渦でも、よくがんばって採集しているとおもいました。
- △ 標本ラベルの大きさ→もう少し小さく
- △ ラベルの位置→針の中間にラベルを付ける

R3 講評（貝）の部

- 今年はコロナや大雨の影響がありましたが、素晴らしい作品が見られて感激しました。
- ◎ 特に標本の配列が工夫されていた作品が多かったです。
- 海・川・陸といれてある作品が多く、生貝が多く入っており、良かったです。
- △ 標本の種類を増やすだけでなく、採集記録をしっかりと記入しましょう。
- △ 力が入りすぎた作品が見られました。

来年も継続して研究することを期待しています。

R 3 講評（ 植物 ）の部

◎ 上学年・中学年の出品が増えました。

とてもうれしいです。

どの作品もレベルが高かったです。

特に中学生の作品はすばらしかったです。

△ 台紙に対して標本が小さすぎると感じました。1つポツンと付けるのではなく、そのときは複数付けると良いです。

△ 花や実が付いていたほうが良いです。

R 3 講評（ 岩石 ）の部

今年も多くの制限のある中での採集でしたが、いろいろな場所で多くの種類の岩石が集まっていました。とても良いことだと思います。

今回の標本を審査して気づいたことを、3つアドバイスします。

- ① 一つ一つの岩石の特徴をきちんと表現するためにも、形や大きさをそろえることが大切です。大きさは、握りこぶしぐらいの大きさが必要です。
- ② 広い崖などから岩石を採集しますが、なるべく表面が新鮮（風化していない部分）な部分を探して、採集しましょう。
- ③ 標本として岩石を採集する時は、川原で拾ったものは好ましくありません。もともとあった崖などの所の岩石を採集するように心がけましょう。

以上のことを、参考にして来年も楽しい標本づくりにチャレンジしてください。